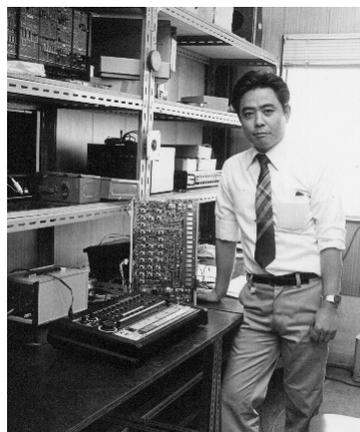


ローランド元社長 菊本 忠男氏が米国MIDI Associationより 「MIDI Lifetime Achievement Award (MIDI 生涯功労賞)」を受賞 ～初期のMIDI規格の制定に革新的なアイデアを提供し電子音楽の発展に貢献～

米国の MIDI 規格管理団体である MIDI Association は、ローランド元社長であり、研究開発部門の責任者であった菊本 忠男氏の、電子音楽の発展への貢献を称え、「MIDI Lifetime Achievement Award (MIDI 生涯功労賞)」を授与し、全米 NAMM ショー（米国時間 2025 年 1 月 21 日～25 日、アナハイム・コンベンション・センターにて開催）の会場内で表彰式が行われます。会場では、当社の Cloud Business 事業本部 Roland Future Design Lab 部長 兼 Consumer Research & Insights 部長であるポール・マッケイブが、菊本氏の代理で同賞を受け取ります。



菊本 忠男氏

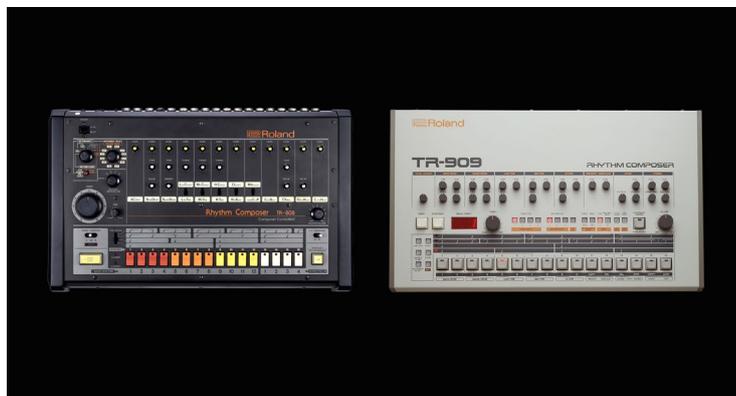


「TR-808」開発当時の菊本 忠男氏

MIDI 規格は、ローランドの当時の社長であった梯 郁太郎氏らが中心となって 1983 年に制定された電子楽器の演奏データを機器間で転送・共有するための共通規格で、現代における音楽制作に欠かせないプロトコルとなっています。梯氏は、その功績を称えられ、2012 年に「Technical GRAMMY Award (テクニカル・グラミー・アワード)」を、元シーケンシャル・サーキット社 社長のデイブ・スミス氏と連名で受賞しています。

菊本氏は、ローランドの研究開発を主導する立場で、電子楽器や演奏情報を管理する機器間の通信方法を統一し、音楽の創造性と電子音楽の制作に革命をもたらした初期の MIDI 規格の仕様設計に革新的な提案を行いました。

菊本氏は、1977 年から 2009 年の 30 年以上にわたってローランドに勤務し、代表取締役社長や、技術開発担当専務取締役などを歴任しました。ヒップホップやテクノなど、新しい音楽ジャンルの誕生に大きく影響したと評価されているリズム・マシン「TR-808」（1980 年発売）や「TR-909」（1983 年発売）の開発を主導したことでその名が広く知られています。



菊本氏が開発を主導した「TR-808」（左）、
「TR-909」（右）

また、当時最新のデジタル技術を駆使し、「V-Piano」、「V-Synth」、「V-Guitar」など、画期的な電子楽器の開発に注力しました。



「V-Piano」(2009年発売)

菊本氏は、初期のMIDIの仕様設計について、複数の機器の演奏を同期させるために不可欠な「テンポ」、「スタート」、「ストップ」などのメッセージを追加することを提案しました。これは、現代の音楽制作、さらには今日も進化を続ける電子楽器を使った演奏パフォーマンスの鍵となるものです。

■ローランド代表取締役社長 CEO 袁輪 雅弘のコメント

「技術革新と創造性の追求は、ローランドの研究開発ミッションの核であり続けています。このミッションは、ローランドの創業時から変わらず受け継がれており、菊本氏のような革新者によって推進され、音楽の未来を導き続けています。ローランドのチームは、音楽とテクノロジーの進化を目指し、さらなる未来に向けて重要な役割を担い続けることに誇りを感じています」

※ 画像は、ニュースリリースページ <https://www.roland.com/jp/news/1130/>よりダウンロードいただけます。

※ 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

※ このニュースリリースに掲載されている製品情報や発売時期などは、発表日現在の情報です。発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。